

国際スケート連盟コミュニケーション第 1619 号

シングルおよびペア・スケートイング

I. 第 53 回 ISU 総会で承認された特別規程および技術規程の主な変更点

技術規程における変更点:

1. シングルおよびペア・スケートイング(シニアおよびジュニア):

a) ジャンプ・コンビネーション:ジャンプがリストに掲載されていないジャンプで繋がれた場合には、その要素はジャンプ・シーケンスとコールされる。しかしながら、コンビネーション/シーケンス中にハーフループが用いられた場合には、ループ・ジャンプの価値を持つリストに掲載されたジャンプとみなされる。

b) スピン:単一姿勢のスピンおよび(シングルにおける)フライング・スピン(フライングからの入りで足換え無し、姿勢変更無しのもの):スピン終了時のアップライト・ポジション(最終のワインドアップ)は、最終のワインドアップにおいて追加の特徴(エッジの変更、姿勢のバリエーション等)が行われない限りは、回転数にかかわらず別の姿勢とはみなされない。

2. シングル・スケートイングのショート・プログラム(シニアおよびジュニア):

a) ショート・プログラムは 7 つの必須要素から構成される。

b) 男子、シニアおよびジュニア:1 つのみのステップ・シーケンス(ストレート・ライン、サーキュラー、サーペンタイン)を含む。

c) 女子、シニアおよびジュニア:スパイラル・シーケンスは必須要素には含まれない。スパイラルが行なわれた場合には“トランジション”で評価される。

d) シニア女子:ダブル・アクセルまたはトリプル・アクセルのいずれかを行なうことができる

e) シニア男子:1 つはジャンプ・コンビネーションの中で、もう 1 つはソロ・ジャンプとして、異なる 2 つの種類のクワドラプルを行なうことができる。

f) シニア男子:フライング・スピンの着氷姿勢と単一姿勢スピンの姿勢は異なるものでなければならない。(例、FCSp と CSSp)

3. シングル・スケートイングのフリー・スケートイング(シニアおよびジュニア):

a) シングルのフリー・プログラムでは、ダブル・アクセルは(ソロ・ジャンプとしても、コンビネーション/シーケンスの一部としても)全部で 2 回を超えて含んではならない。

b) 男子シニア:(実施順で)2 回目のステップ・シーケンスには常に固定された基礎値(BV)が与えられ、ジャッジによる GOE でのみ評価される。このステップ・シーケンスは、氷面を十分に利用したものであればいかなる形状でもよい。

c) シニア女子:スパイラル・シーケンスには常に固定された基礎値(BV)が与えられ、ジャッジによる GOE でのみ評価される。このシーケンスには、3 秒以上のスパイラル姿勢が少なくとも 2 つ、または 6 秒以上のスパイラル姿勢が少なくとも 1 つ必要である。この要件が満たされない場合には、そのスパイラル・シーケンスは無価値となる。

4. ペア・スケーティングのショート・プログラム(シニアおよびジュニア):

- a) ペアの ショート・プログラムは 7 つの必須要素から構成される。
- b) ソロ・スピン・コンビネーションとペア・スピン・コンビネーションはシーズンごとに入れ替え、2010-2011 シーズンはソロ・スピン・コンビネーションで開始される。
- c) ショート・プログラムでは、ステップ・シーケンスは毎年含まれる。

5. ペア・スケーティングのフリー・プログラム(シニアおよびジュニア):

- a) ジャンプ・コンビネーションの構成は、2 つのジャンプからでも 3 つのジャンプからでもよい。
- b) シニアでは、フリー・スケーティングにおけるデス・スパイラルは、ショート・プログラムのデス・スパイラルとは異なる種類のものでなければならない。
- c) フリー・スケーティングでは、スパイラル・シーケンスは毎年含まれる。スパイラル・シーケンスには常に固定された基礎値(BV)が与えられ、ジャッジによる GOE でのみ評価される。このシーケンスには、3 秒以上のスパイラル姿勢が各パートナー少なくとも 2 つ、または 6 秒以上のスパイラル姿勢が各パートナー少なくとも 1 つ必要である。この要件が満たされない場合には、そのスパイラル・シーケンスは無価値となる。

6. **不正要素:**要素の実施中に不正な動作がある場合には不正動作に対する減点が適用され、少なくともレベル1の要件が満たされている場合にはその要素はレベル 1 となる。満たされていない場合にはその要素はレベル無しとなる。

特別規程における変更点

1. 国際競技会におけるテクニカル・パネルの構成

国際競技会では、酌量すべき状況であれば例外として、ホスト・メンバーの国内テクニカル・スペシャリスト一人をアシスタント・テクニカル・スペシャリストとして用いてもよい。この場合には、その者は、当該メンバー所属のアシスタント・テクニカル・スペシャリストとして任命される。

2. **中断からの再開:**今後は中断からの再開における 2.0 の減点の適用は行なわない。しかしながら、“中断からの再開”はコンポーネンツ・スコアにマイナスに影響することをジャッジに忠告する。

3. 減点:

a) コスチューム、小道具、音楽違反:

レフェリーはジャッジ団とともにコスチューム、小道具、音楽違反を決定する。ジャッジ全員とレフェリーを含めたパネルの過半数の判定により 1.0 の減点が適用される。50:50 に票が割れる場合には減点は適用しない。

b) 転倒および不正要素:

テクニカル・コントローラーおよびテクニカル・スペシャリスト、アシスタント・テクニカル・スペシャリストは、転倒および不正要素の減点を決定する。減点は多数決により決定される。

4. セミナー参加要件:

ISU 選手権およびオリンピック冬季大会における(当該技術委員会のメンバーにより行われた)イニシャル・ジャッジ・ミーティングおよびラウンド・テーブル・ディスカッションへの参加は、セミナー参加の要件を満たすと見なす。

5. ISU 選手権へのエントリー

シニア ISU 選手権の選手権/予選ラウンドへの参加申込をするためには、競技者は当該シーズンまたは前年シーズンに ISU 公認の国際競技会において、最低限度の総技術点(トータル・テクニカル・スコア)に達していなければならない。

ISU 選手権 2011 における最低限度の総技術点は、

男子	SP	20.0	FS	35.0
女子	SP	15.0	FS	25.0
ペア	SP	17.0	FS	30.0

ISU 世界ジュニア・フィギュア・スケート選手権には最低限度のスコアは必要ない。

II. ISU&国際テクニカル・コントローラー、テクニカル・スペシャリスト、ISU データ&リプレイ・オペレーターの新任命、再推薦のためのナショナル/地区/地域競技会の承認要件

1. 当該競技会は、ISU ショート・プログラムおよびフリー・スケートによるシニアあるいはジュニアであり、少なくとも 6 人のシングル・スケーターあるいは 3 組のペアが参加しているものである。
2. 大会を組織する ISU メンバーのステートメントで、当該役員が競技会で対応する役割を務め、その業務が組織メンバーにより満足できるものとみなされたことを裏付けるもの。

ミラノ

2010 年 6 月 24 日

ローザンヌ

ISU 会長 **Ottavio Cinquanta**

専務理事 **Fredi Schmid**

日本語訳: 2010 年 7 月 12 日 第 1 版